

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3032	(H.24)No.	3032
-----------	------	-----------	------

事務事業名 民間保育所施設整備補助金			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
子ども部	保育幼稚園室	関元 則子	63-7919
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	名張市民間保育所施設整備事業補助金交付要綱	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	2	保育サービスの充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	196203
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	民間保育所運営事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 保育所費	民間保育所施設整備補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
民間保育所の施設整備に対して補助を行う	
保育所改修に対する補助: 箕曲保育園、昭和保育園、名張西保育園、西田原保育園、東部保育園	

めざす効果(事業目的)
公立保育所の民営化を促進し、地域の保育に民間の活力とノウハウを活用することで、多様化する保育ニーズに応える。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)					
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] <H23現年分> 昭和保育園改修工事(18947千円) 東部保育園施設等修繕(3000千円) 桔梗が丘保育園改修工事(7476千円) 比奈知保育園施設等修繕(2616千円) 滝之原保育園施設等修繕(1330千円) 蔵持保育園施設等修繕(1995千円) <H24年度への繰越明許費> 蔵持保育園改修工事8333千円(補助金4166千円)	[事業内容(事業量)・事業費] 平成23年度からの繰越事業のみの実施。	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
直接事業費	35,364千円		平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)	民間保育所施設設備改修	民間保育所施設設備改修	民間保育所施設設備改修
財源内訳(千円)			2,000千円	2,000千円	2,000千円			
国庫支出金								
県支出金	12,210							
地方債	11,600							
その他()								
一般財源	(0) 11,554	0	2,000	2,000	2,000			
人工数								
職員	0.31人	0.24人	0.31人	0.31人	0.31人			
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人			
概算人件費	(0千円) 2,280千円	1,769千円	2,280千円	2,280千円	2,280千円			
+ 総事業費	(0千円) 37,644千円	1,769千円	4,280千円	4,280千円	4,280千円			

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	市立保育所のうち、運営を民間委託または民営化した園数(延べ値)	園	-	-	-	-
	実績			1	1	6	10
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
民営化した保育所の老朽化に伴う施設・設備の改修・修繕を行い、保育環境の充実に推進することができました。	昨年度の繰越事業を実施します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	国の子ども・子育て新システムの給付制度の活用を検討します。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	〃
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	〃
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項